

類家山車組

40年のあゆみ





ZETV 全国生中継
八月十六日三十分、十七日三十分
CATV八月二十日放送共同制作

電話と学
当ビル5F
夏期生最終募集中！
秋期生同時受付開始！

セルラーホン
青森電機ネットワーク株式会社
電話 400-6200
ノブア 桃川株式会社
電話 019-441-171

八戸テレビ放送
八戸テレビ放送



類家山車組
40年のあゆみ



発 行
類 家 山 車 組
類 家 山 車 保 存 会

人の和・創造・技術

発刊のご挨拶



類家山車組
会長

寺下 忠雄

昭和27年より三社大祭に参加以来お陰様を持ちまして、今年で満40周年を迎え、記念誌を発刊する運びになりました。

省りみますれば、三神社、八戸市ならびに観光協会、山車振興会の役員を始め、町内の皆様、山車組の先輩及び各関係者の方々のあたたかい御支援と御協力に支えられ、この度の記念誌発刊の運びになりましたことを心から御礼申し上げます。

山車製作に携った諸先輩とそれを支えられた皆様方の御努力に依り、三社大祭の山車製作を根本から改革し、現在の日本一と称される山車のパイオニアとして類家の名声を高めた事を忘れる事が出来ません。

今後共精進努力し、40年の伝統と輝かしい業績を基盤とし、21世紀に向い更なる発展を目ざして、邁進していきたいと願っております。

今後とも一層の御指導と御鞭撻を賜ります様御願い申し上げますと共に皆様方の御多幸を御祈念申し上げまして発刊の御挨拶といたします。

類家

四十祝周年
三社◆大祭
類家山車組
長者山新羅神社

お祝いのご挨拶

八戸市長

中里信男



この度、類家山車組の山車製作40周年を迎えるに当たり、心からお祝い申し上げます。

類家山車組並びに類家山車保存会の皆様には、八戸三社大祭の充実・発展はもとより、当市観光行政の推進のためにご尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

八戸三社大祭は、270余年の歴史と伝統を誇る当地方を代表する華やかな祭りであり、時代の変遷とともに祭りに参加する山車もその趣向を変えながら現在に受け継がれて来ました伝統芸能であります。

類家山車組におかれましては、昭和27年、三社大祭に初参加して以来今日まで、会員の相互連携のもとに山車製作技術に研鑽を積み、これまでに最優秀賞を9回受賞するなど、数多くの賞に輝いております。

特に昭和40年に考案創作されました山車は、人形等に動きのある独創的かつ立体的なものであり、山車関係者を始め多くの観覧者を魅了いたしましたところでもあります。

以来この企画が各山車組における製作技術の向上を促進し、現在の豪華絢爛たる山車が製作されるようになり、名実ともに日本一の山車まつりとして全国に紹介宣伝されているところであります。

これも偏に、歴代役員を始め会員各位のたゆみないご努力の賜物と深甚なる敬意を表する次第であります。

類家山車組におかれましては、この度の40周年記念を契機といたしまして、今後、更に山車製作技術の向上を図るとともに八戸三社大祭の振興・発展のため、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、類家山車組並びに類家山車保存会のますますのご隆盛と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

平成3年8月吉日

40周年を迎え
心からお祝申し上げます

(社)八戸観光協会

会長 於本 功



この度、類家山車組の山車製作・参加40周年を迎えることは、誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

類家山車組が八戸三社大祭に初参加されました昭和27年は、戦後の講和条約が発効された年でもあり、以来40年間、今日に至るまで国内外、そしてこの八戸も大きな変遷を遂げて参りました。

山車製作技術という面でも時代の流れとともにその趣向を変え、大きな飛躍を見、現在では「日本一の山車まつり」の名を確たるものとし、本年、衛星放送の電波に乗り、日本全国各地に三社大祭が紹介されるという機会を得ております。

類家山車組におかれましては、参加以来、連続7年間最優秀賞を受賞されるなどの大きな功績を残しており、現在の各山車組に見られます山車製作技術の向上の大きな牽引車の役割を果たして頂いております。

この40周年という節目を契機として今後更なる研鑽を積み、270余年の伝統を誇ります三社大祭の発展のため、一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、類家山車組並びに類家山車保存会のますますのご活躍を祈念して、お祝いの言葉と致します。

平成3年8月吉日

はちのへ山車振興会

名誉会長 **滝沢章次**



類家山車組40周年を迎え心よりお喜び申し上げます。

類家の山車組の40年の歩みはかがやかしい栄光に輝いて今日に至りました。

数多くの入賞、そして最優秀賞数回他の山車組には見られないすばらしいものがあります。

この原動力は、何んと申しましても町内の人の和であります。町内の皆様の団結力と日々の祭に対する心がまえ、基本的なものから組織的に活動し、山車を完成させてゆく姿を拝察するとき、類家山車組の強力なことがひしひしと感じさせられます。

この様な日々の積みかさねが類家の山車の伝統をきづき栄々と発展して行くものと思います。この40周年を節目に益々研鑽を積みまれ八戸山車振興の為に、精進される事を願うものであります。

終りに類家山車組の皆様の御健勝を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

はちのへ山車振興会

会長 **菊田重一郎**



類家山車組、山車製作40周年を迎えられ記念誌が発刊されますことは誠に意義深く、心からお喜び申し上げます。

嫺々とした余韻を残す笛、身体をゆさぶる勇壮な太鼓と共に小太鼓を囃す引き子達の掛け声、そして朗々とした木遣音頭：八戸三社大祭はわれわれの身近にある心のふるさとなのです。

今年が270年という歴史と伝統のある青森県南最大の祭り八戸三社祭の圧巻は、神社の行列につらなる付祭りとして、日本一を自称する素晴らしい山車群であり。祭りの主役といわれる「山車」は、町内こそって製作に熱中し、その腕を競い、出来上がった山車を皆んなで街へ引き出し、沢山の人々が観賞し祭りを楽しみます。

昭和21年、戦争で中断していた三社祭りが復活したときの喜びは、私も幼少のときから祭りの山車製作に係っていた1人として忘れられない感激として脳裏に刻ざまれております。

近年、山車製作技術水準の向上もめざましく、年々豪華さを増し舞台の主役に動くカラクリ、音響、照明効果などに加え、色彩も祭りにふさわしい、より豊かで美しいものへと変化してきています。

昨年「第10回全国豊かな海づくり大会」に天覧山車として出展し大きな喝采を受けたのに続き、苫小牧市の「港まつりポートカーニバル」の招待参加、さらには「大阪御道筋まつり」の参加などいよいよ八戸三社大祭の豪華な山車が日本一の山車まつりとして全国各地に認められつつあることは誠に喜ばしい限りであります。そして今年はNHK衛星放送の電波に乗り全国に放映されることになりました。

高度化された製作技術がおりなす豪華絢爛な山車は新時代の波となって今年も町内、商社の力作に沿道を埋める観客は感動と感嘆の声と拍手を盛大に送ることでしょう。

祭りを通じ、肌と肌とを触れ合い、そこに新しい連帯感と郷土意識が芽生える八戸三社大祭の日本一の山車まつりの発展に一層のご支援をいただきますとともに、類家町内会の益々の隆盛を心からご祈念申し上げ祝辞といたします。

長者山 新羅神社

宮司 柳川浩司



類家山車組の、三社大祭参加40周年を、心からお祝い申し上げます。

類家に住む御氏子が、産土様の御輿のお供をしようと、半年も前から山車作りに着手する訳だが、一口に、「山車作り」と云っても、どんな山車を、どんな風にするのか、中心になる人の、最も頭を悩ます問題に違いない。山車に、初めて「カラクリ」を付けたのも類家だと聞いているが、類家には優れた開拓者が居て、同じ様な題材の山車でも、類家の山車は、色彩はひときわ鮮やかで、その華麗さは、人の目を魅き付けずにおかない何にかが在る。

山車作りの名人の、今や草分的な存在になった和山孝一氏や、その後継者の石橋末吉氏を中心に、山車作りに着手し、出来あがる頃には、徹夜を重ねて漸く間に合わせ、『皆んな心を一にして、力を合わせて、立派な出車を作り上げたんだ』という、喜びの実感は、作った人でなければ、判らないに違いないが、それにしても、昭和38年から、7年間も、毎年の事とて重いプレッシャーもあったろうに、それを見事に撥ね除け、連続して最優秀賞に輝くという偉業を成し遂げた事は、長い、三社大祭の歴史の上に、燦然と輝き、今日、「日本一の山車祭」と云はれる程、豪華な山車の、山車作りの基礎を築いたという点で、正に、この類家の山車組こそ、不滅の功績を挙げた山車作りのパイオニアなのである。

祭りが大きい町は栄えると云うが、40年間に渡って、最優秀は勿論、優秀、秀作、努力賞と毎年の様に受賞し、賞を確得しなかった年が稀でしかなかった類家の御氏子住民を、神様も吃度御嘉賞遊ばれているものと思う。

想えば類家の御氏子を代表されている総代、南類家三浦善太郎氏、北類家大橋正夫氏、東類家長瀬景吉氏、中類家丸山二郎氏、名総代さんに、神社では大変にお世話になってきた。

元総代の石橋金之助氏や笠原末吉氏等の顔も懐かしく思い出される。

山車作りから、山車を曳く子供達迄、そして事故のない様にと、暖かい目で見守る大人の方々……に、神社を代表して「御苦勞さんでした」と、その御苦勞を、心から労いたい。

そして、御氏子各位に深く感謝して、お祝の辞とする。

類家山車組
類家山車保存会

名誉会長 上沢寿春



わが山車組にとりまして、八戸三社大祭参加40周年という記念すべき年であり、又節目の年でもある平成3年度を迎えるにあたり、皆様方をお願いとお礼を述べさせていただきます。

諸先輩方が守り続けてまいりました、類家山車組は、昭和27年初参加以来、1年も休むことなく今日に至っております。これも皆様方のご協力の賜物と感謝し心より厚くお礼申し上げます。

一口に40周年と申しましても私が知っている限りにおいても様々なことがありました。

一時は参加が危ぶまれた時期もありました。又7連勝という輝かしい時期もありました。皆様方のご協力を頂いたおかげで、これまで実に優勝9回、準優勝3回、秀作、努力賞22回と合わせて34回入賞という立派な成績を残すことができました。

これからも八戸三社大祭の名に恥じない立派な山車作りにむけて山車組一同、精一杯がんばってまいります所存でございます。

そして類家山車組が今後80周年、100周年と続きますよう、皆様方の暖かいご支援、ご協力を末長く賜りたく心よりお願い申し上げます次第であります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。まして挨拶といたします。

「類家山車保存会」
お礼のことば



類家山車保存会
会長 丸山二郎

この度、類家山車組の「40周年記念誌」おめでとうございます。
省りみますと、類家町内老人クラブ会長でありました故佐々木
一二三氏の発案で類家山車保存会が結成され、山車組と相携い、
今日まで運営出来ましたことを嬉しく存じます。

これ偏に町内の方々はじめ関係各位のお陰と深く感謝申し上げ
ます。

特に、山車小屋の設置の現在地につきましては、ヤマヨ様・町
田勝男氏より特別な御好意をいただき、誠にありがとうございました。

又、今迄までの永い間には、ネタツ様の工藤辰四郎氏、八戸通
運様の角谷信治氏、阿部弘氏、の各氏には大変な御骨折りをいた
だきました。ありがとうございます。

山車の貸出に就きましては、岡三沢、十和田中央通、久慈中組
の山車組連様、本当に今迄お世話になりました。

今後共々御付合の程、よろしくお願い致します。

製作面に就ましては、物心両面から御援助いただきました。月
金様の月館賢太郎氏の事も忘れることは出来ません。有難うござ
いました。

他にも色々とお世話になりました方々沢山ございます。それも
これも皆様方のお陰で連続の三社大祭参加です。

深く深く感謝し、今後共、末永く御指導、御援助くださるよう、
伏してお願いし併せて類家山車組の皆様方の益々の御発展を御祈
念申し述べあいさつと致します。

おめでとうございます。

平成3年8月吉日

ヤーレ コレヤーノセイ
目出タ 目出タの 類家の里は
義理と人情の 花が咲くエー
ヤイヤイ ヨイサヨイサ
ヨイサノセー ヤレヤレヤレー

◇ 類家山車組 40年のあゆみ・目次

発刊のご挨拶	類家山車組 会長 寺下忠雄	3
御祝辞	八戸市長 中里信男	4
御祝辞	(社)八戸観光協会 会長 於本 功	5
御祝辞	はちのへ山車振興会 名誉会長 滝沢章次	6
御祝辞	はちのへ山車振興会 会長 菊田重一郎	7
御祝辞	長者山 新羅神社 宮司 柳川浩司	8
御祝辞	類家山車組・類家山車保存会 名誉会長 上沢寿春	9
御挨拶	類家山車保存会 会長 丸山二郎	10
40年の実績一覧表		12
平成3年・類家山車付祭写真集		14
写真で見る40年のあゆみ(昭和27年~平成2年)		23
平成3年・類家山車保存会新年パーティ		63
40年の思い出・座談会(石橋末吉氏他)		65
昭和27年・類家付祭出入帳		71
インタビュー(小林 清氏・高屋敷 菊松氏)		75
祭りとの出会い	類家町内会 元青年部長 杉本文雄	76
協賛広告(63事業所・団体他)		77
平成3年度 類家山車組・類家山車保存会役員名簿		110
編集後記	編集委員長 大橋達雄	111



類家山車組 40年の実績一覧表

年度	題名	入賞	製作者
昭和27年	赤穂浪士・岡野金右エ門絵図面取りの場		和山孝一 西村久次郎 (二十八日町)
昭和28年	義経吉野落の場		和山孝一 西村久次郎 (二十八日町)
昭和29年	歌舞伎十八番解説	努力賞	和山孝一
昭和30年	伝説・十和田開祖	無審査の年	和山孝一
昭和31年	里見八犬伝	秀作	和山孝一
昭和32年	青獅子	二位	和山孝一
昭和33年	海彦山彦	秀作	和山孝一 (アイデア) 石橋末吉
昭和34年	羅生門茨木	秀作	和山孝一
昭和35年	賤ヶ嶽一番槍	秀作	和山孝一
昭和36年	神話・いなばの白うさぎ	秀作	石橋末吉
昭和37年	やまたの大蛇	秀作	石橋末吉
昭和38年	かぐや姫	一位	和山孝一
昭和39年	鞍馬寺の牛若丸	一位	和山孝一
昭和40年	成田山不動明王開眼	一位	和山孝一
昭和41年	竜宮城	一位	石橋末吉
昭和42年	日蓮と蒙古大襲来	最優秀	石橋末吉
昭和43年	南総里見八犬伝・芳流閣の場	最優秀	石橋末吉
昭和44年	竹取物語	最優秀	石橋末吉
昭和45年	みかん船	優秀	石橋末吉
昭和46年	赤穂浪士討入り	最優秀	石橋末吉

年度	題名	入賞	製作者
昭和47年	会津飯盛山白虎隊	最優秀	石橋末吉
昭和48年	赤穂浪士悲願達成	秀作	石橋末吉
昭和49年	うらしまたろう	秀作	石橋末吉
昭和50年	桃太郎	秀作	石橋末吉
昭和51年	竜踊り	優秀	石橋末吉
昭和52年	百合若大臣	秀作	石橋末吉
昭和53年	一休さんと将軍さま	秀作	石橋末吉
昭和54年	日蓮上人佐渡流罪	秀作	石橋末吉
昭和55年	真田幸村・大阪冬の陣真田丸の大激闘	秀作	石橋末吉
昭和56年	七福神	秀作	石橋末吉
昭和57年	かぐや姫	秀作	石橋末吉
昭和58年	天の羽衣	努力賞	石橋末吉
昭和59年	中将姫	努力賞	石橋末吉
昭和60年	竜宮城		石橋末吉
昭和61年	少林寺	努力賞	寺下忠雄 中居正則
昭和62年	藤娘	努力賞	高屋敷 正敏
昭和63年	赤穂浪士の討ち入り	秀作	石橋末吉 (アイデア) 類家山車組
平成元年	元禄風花見踊	努力賞	高屋敷 正敏
平成2年	弁慶主従の別れ		高屋敷 正敏
平成3年	りゅうぐうじょう		高屋敷 正敏



平成3年

りゅうぐうじょう







類家山

市

類家山保存会

平成3年8月撮影(全影15.16ページに折込み掲載)

平成3年
スナップ









類家山車組 写真で見る40年のあゆみ



〈昭和27年から平成2年までの記録〉





【山車の審査】

昭和のはじめ、当時あった「はちのへ新聞社」が優秀な山車の表彰を行ったが、これは人気投票によったので投票用紙が売買される程の熱狂的なせり合いであった。

戦後、昭和24年から八戸観光協会が各部門の専門家による審査を行い等級をつけていたが、昭和30年一応山車の水準が平均化したという理由で審査を取りやめた。

しかし、世論の要望によって昭和31年から再び復活し1位から3位までと秀作5点を表彰することになった。



昭和31年の審査は、今は亡き音喜多富寿氏を委員長とし故法師浜桜白(俳人)等13名の審査員により行われた。

その当時の1位から秀作までは下記の通りであった。

- | | | | |
|----|-------------|----|--------------|
| 1位 | 渡辺 綱 (十一日町) | 秀作 | 南総里見八犬伝 (類家) |
| 2位 | 桃太郎 (湖日町) | 秀作 | 滝の白糸 (鍛冶町) |
| 3位 | 牛若丸 (六日町) | | |
| 秀作 | 鳴 神 (新荒町) | | |
| 秀作 | 象 引 (二十六日町) | | |
| 秀作 | 茨 木 (塩 町) | | |

秀作



二位

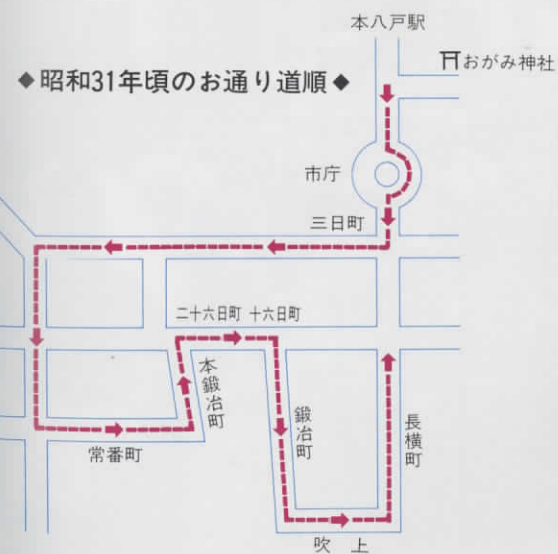


【昭和31年頃のお通りとお還り】

1日の行列を「お通り」といい、神明宮、オガミ神社、新羅神社と続き3日の行列は「お還り」でオガミ神社と新羅神社が入れかわるという行列の順序は昔から変わらず。

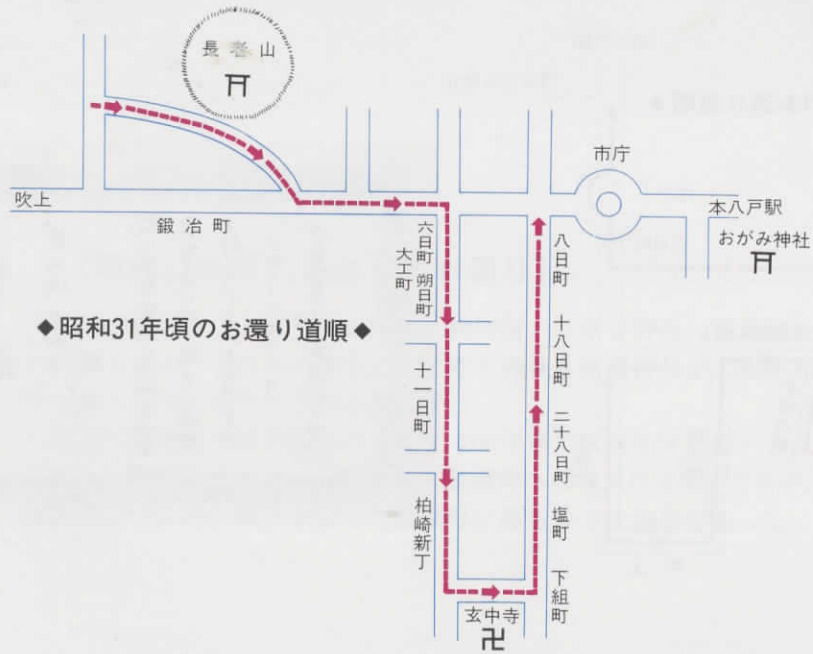
行列の道順も享保以来そのまま 200年来の伝統を守っている。

昭和6年にお通りを六日町を経て長横町へのり入れる案がでたが、賛成反対でもめ、吹上を回って長横町に落ちつく大論争があった。





秀作



秀作



秀
作



秀
作





秀
作



一
位



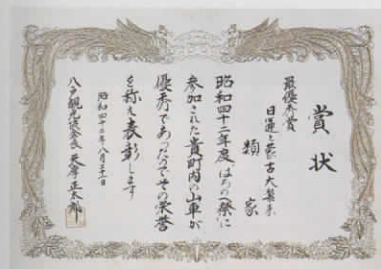


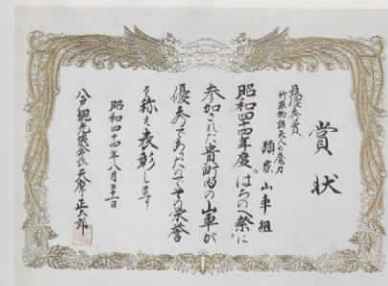


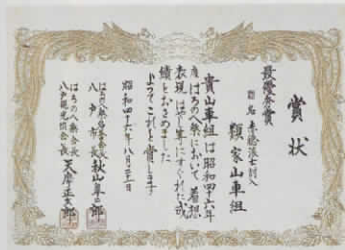
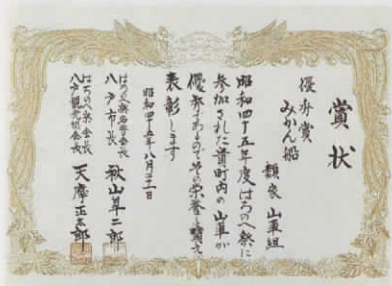
一位



最優秀









最優秀



秀作

賞状
 最優秀
 会津飯盛山白虎隊
 貴山東組は昭和四十七年度はちの会において、最も優秀な表現をなされ、賞状を授けられたことを、心よりお慶び申し上げます。



秀作



賞状

秀作賞
うらしまたろう
類 家山車組

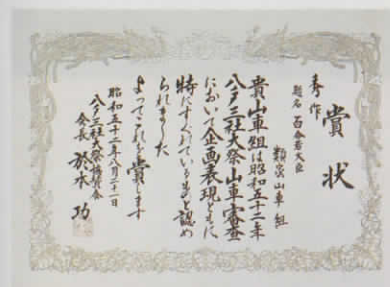
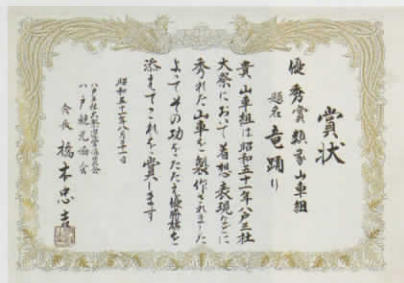
貴山車組は昭和四十九年度
はちの祭におい着想表現
等にすぐれた成績をあげた
よってその努力をたたえこれ
を賞します

昭和四十九年八月二十日

川崎祭典実行委員会 秋山卓二郎
川崎祭典実行委員会 天摩正太郎

秀作







秀作
 一休さんと將軍さま
 類家山車組
 山車審査の結果
 その栄誉を讃える
 昭和五三年八月五日
 八社三社交際協賛会
 会長 於本 功

感謝状
 類家山車組
 貴社より拝受した山車審査の結果、その栄誉を讃えることを喜び、心から感謝申し上げます。また、審査にご協力くださいましたこと、厚く御礼申し上げます。
 社団法人 山車組
 会長 於本 功
 昭和三十四年八月五日
 昭和三十四年八月五日

秀作
 日蓮上人佐渡流罪
 類家山車組
 山車審査の結果
 その栄誉を讃える
 昭和五四年八月五日
 八社三社交際協賛会
 会長 於本 功



秀作
 八丁三程大祭協賛会
 八丁親光協賛会
 会長 於本功



秀作
 真田幸村 大阪冬の陣 真田丸の大激闘
 類家山車組
 山車審査の結果
 その栄誉を讃える
 昭和五十五年八月十日
 八丁三程大祭協賛会
 会長 於本功



秀作
 八丁三程大祭協賛会
 八丁親光協賛会
 会長 於本功

秀作
 七福神 類家殿
 山車審査の結果
 その栄誉を讃える
 昭和五十六年八月十日
 八丁三程大祭協賛会
 八丁親光協賛会
 会長 於本功



秀作



秀作
かぐや姫 類家山車組
山車審査の結果
その栄誉を讃える
昭和五十七年八月一日
八戸三社大祭協賛会
会長 於本功



努力賞
天の羽衣 類家山車組
山車審査の結果
その栄誉を讃える
昭和五十八年八月一日
八戸三社大祭協賛会
会長 於本功



努力賞
 中将姫 類家
 山車審査の結果
 その栄誉を讃える
 昭和五十九年八月一日
 八戸三社大祭協賛会
 会長 於本功





努力賞

賞状
少林寺 類家
山車審査の結果
その栄誉を讃える
昭和五十一年八月一日
八戸三社大祭協賛会
会長 於本功



努力賞



努力賞
藤娘 類家
山車審査の結果
その栄誉を讃える
昭和五十一年八月二日
八戸三社大祭協賛会
会長 於本功





秀作
赤穂浪士の討ち入り
山車審査の結果
その栄誉を讃える
昭和六十三年八月一日
八戸社大祭協賛会
会長 於本功



努力賞
元禄風花踊
類家
山車審査の結果
その栄誉を讃える
平成元年八月一日
八戸社大祭協賛会
会長 於本功



平成2年

弁慶主従の別れ



平成3年
類家山車保存会新年パーティー
於・報恩会館





類家山車組 40年の思い出

《 座 談 会 》



◇出席者 和山金四郎氏 石橋末吉氏 高屋敷由太郎氏 大橋正夫氏 中村長氏

◇欠席者 和山孝一氏 金沢直蔵氏 高屋敷正氏 石鉢圭介氏 (順不同)

◇司会 四戸俊光氏

◇聴講者 寺下忠雄氏 丸山一朗氏 上沢寿春氏 高屋敷正敏氏

◇編集者 大橋達雄氏 (順不同)

☒日時 平成3年6月20日(木) 午後6時 ☒所 八戸プラザホテル

梅雨模様の当日、類家山車組、40年の思い出を語り合う会が寺下忠雄会長の挨拶、編集担当の大橋達雄氏の記念誌発刊の意義などのあと、高屋敷由太郎氏の乾杯で座談会が始まりました。座談会は、なごやかな中にも苦しかったこと、たのしかったことなど、有意義なうちに進められました。

尚、和山孝一、金沢直蔵、高屋敷正一、石鉢圭介、各氏にはご都合により欠席されましたことは誠に残念でした。

司会(四戸) 本日はご多忙のところ皆さんこころよくご出席いただきまして誠に有難うございます。

当類家山車組の運営につきましては日夜ご尽力と格別なご指導ご協力を賜わりまして本当に感謝しております。ご案内の通り、類家山車組は昭和27年に初めて八戸三社大祭に参加した訳ですが、それから40年になりました。



その間数々の賞を受け、当町内の名声も高く評価されるまでに至りました。

これも偏えに、ご出席の皆様はじめ町民一人ひとりの、あたたかいご理解の賜ものと思っております。

本日は、40年という長い間のご苦労と、たのしさ、よろこび、などを思い出しながら、お話しを伺いたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

先づはじめに、昭和27年の最初の山車作りのご苦労を協力して下さった方々についてお聞かせ下さい。

大橋(正) 私は類家山車組には、昭和27年の最初から参加しておりますが、石橋福二郎さん(大工町)石橋金之助さんや、特に中西市太郎さんは、忠臣蔵が大好きな方でした。西村久次郎さんは昔の錦座(二十八日町にあった元の東宝劇場)で看板描きの名人でした。たしか、昭和27年~昭和29年ごろまで参加して山車作りに協力してくれました。

和山(金) そもそも山車を出そうと、話しが出たのは昭和26年に運動会で類家町内会が優勝したときからですネ。



その当時の類家の若者は朔日町とか他の町内のお祭りに参加していた訳でして、何んとか類家として山車をお祭りに参加させたいという思いが強かったのです。

たしか、その当時の町内会長さんは、松井源次郎さんで、親方達が10人程決りました。

製作監督は西村さんで実際の製作にあたった方は、和山孝一さん、手元には石橋末吉さんです。

その当時の大工賃はいくらだったか忘れましたが、石橋末吉さんは半人分の賃金で頑張ってくれました。

司会 昭和27年から山車小屋は5~6ヶ所位の移転した記憶がありますが。

高屋敷(由) 山車小屋は今迄に6回変わっています。最初は大橋商店の前の松館さんの空地をお借りし、次に向いにあった市営住宅の横、梶の大木のあったところでした。



3番目は宮野さんの家の前の広場、次には高屋敷正さんの隣りで、この時は製作場所(大物だった)は福牡丹さんの倉庫をお借りしたこともありました。

お祭りの前の晩は山車小屋より引き出し路上にテントを張って交通止めにして飾り付けしたものでした。今程の交通量もなかったから良かったんですネ。

48年から大橋商店の向いの広場、51年の「竜踊り」から現在の「ヤマヨ」さんの場所をお借りしています。



中村 色々場所が変っていますが、町内から出たという(場所から)ことがありませんから、いかにお祭りに協力的だったかがわかりますネ。

司会 当時の山車製作で、特にご苦労した

ことは。

中村 何んだったって金をかけないで、いい山車を造ると云うことが悩みの種でした。

皆さんの裁量と努力が偉大だったと思います。

大橋(正) 赤字の年から、次の年は黒字で又、次の年は赤字といったような2年周期で、赤字、黒字と続いたものです。

高屋敷(由) 山車全体を豪華に見せたくても、人形の首が2つしかありませんでした。



他は借りる他はなく、吹上、鍛冶町、鳥屋部町など、特に鳥屋部町の村井さんにはお世話になり何んとか格好をつけたのも何度かありました。

中村 38年の「かぐや姫」の時は類家には人形も手足もないので、人形を使わない場面を出した。これは今では考えられないことでしょうネ。



大橋(正) 太鼓を借りたこともありました。たしか、三八城山から借りたと思いますよ。

和山(金) 南宗寺さんからも借りたこともありました。貧乏だったんですネ。(笑)

司会 方々からいろいろなものをお借りしましたが、祭りが終わって整理するとき、その借り物を「ガラクタ」と間違っただけで焼き捨ててしまい、大あわてしたこともありました。(笑)

石橋 昔は三社大祭は9月1日から3日までだったので、山車の製作期はちょうど、お盆に当るんですネ。山車作りの一番人手が必要なきが、各自の墓参りや来客等が多く、また、高校野球の時期でもありまして、人手不足には悩まされたものでした。



ちょっと外の人を羨しく思うのがこの時でしたネ。

司会 和山金四郎さんは、鎧の小細工などに実にすばらしい感覚と技術の持主ですが、その和山さんでも悩んだことがありますか。

和山(金) 昭和34年の「羅生門」のとき、ど



うやって人形に髪をつけるかと悩みました。

苦勞のかいがある「秀作」を得ることができ、ほっとしました。

石橋 最近は強力な「ボンド」があるのでだいふ楽になりました。

高屋敷(由) ドラム缶4つを並べた上に荷台を上げ山車の組立てをしました。

出来上ってから、その台を荷馬車の上に上げますが、その作業がまた大変なものでした。昔の台は馬車の荷台を使ったので隔世の感があります。

司会 昭和40年ごろから、山車の構造も少しづつ変わってきたように思います。

その点いかがですか。

大橋(正) 昭和40年の「不動明王」のころから発明的な作り方に変ってきた感じでした。

司会 この時は、昭和39年の「鞍馬寺の牛若丸」の第1位、昭和40年の「成田山不動明王開眼」の第1位に続く3年連続1位を目指し「白」の優賞旗を勝ち取ろうと頑張りました。



和山孝一さんの指導で「不動明王」の写真を、360度36面体を撮影するために海安寺、大慈寺、八田仏具店さん等に何回もお願いに行き、何度も何度も撮り直した苦しい思いがあります。

和山(金) 「不動明王」の出来栄は良かった。運行中に大衆(観衆者)の中からお婆さんが賽銭を上げて手を合せて拝んだくらいでした。勿論第1位を得ました。

あの時は運行中でも歓声が湧き上り第1位は確実と思った程でした。

高屋敷(由) 昭和42年の「日蓮と蒙古大襲来」は、発泡スチロールをはじめて波に使用しましたが、ほんの一部分だけでした。それまではベニヤ板を使っていました。



この年代から発泡スチロールは画期的な材料となりました。



石橋 発泡スチロールをボンドと彩色をまぜ合せて、昭和47年の「白虎隊」の芝生を作ったこともあります。

高屋敷(由) 発泡スチロールで雪を作りました。「おろし金」でおろした訳で大変でしたよ。手までおろした程でした。(笑)

大橋(正) 山車には、正面ばかりではなく、裏側も大切であり、正面と後見(裏側)とが連続した。もうひとつの「ドラマ」と考えるようになり、この頃から連続して各賞を得たものです。

高屋敷(由) 昭和46年の「赤穂浪士」のまわり舞台は、観衆の話題を呼びました。運行中に舞台が大きくまわり開くと、観衆人から盛大な拍手が湧いたもので、人形の表情、構成、テーマ、ムード、アイデア等は他の山車には見られなかった。当然のように最優秀賞となりましたね。



石橋 昭和60年の「竜宮城」のときもそうでしたが、舞台を大きく見せるための効果は大きいと思います。

司会 昭和45年の「みかん船」のときは、製作日数が2週間だけのときもありましたネ。慌てて完成させましたが優秀賞を得ました。構成がよかったと思います。

石橋 審査員席のうしろで、各組の山車を観察するのが一番参考になるし、アイデアの素案を出す最も基本的なことだと思います。司会 石橋末吉さんには我々が時代おくれにならないように何かとご指導いただいております。本当に感謝しています。



石橋 私ひとりでは何も出来ません。

皆さんのご協力と団結の賜ものと私は感謝しております。

司会 浴衣も柄がバラバラで統一されていなかったようですが。

大橋(正) 当時は類家の町民は、朔日町や鍛冶町の山車組に参加していましたので、そのために浴衣は各自で勝手に準備したものでした。又伴天は浅黄色でした。



司会 今の浴衣を作ったときは、当時のお祭りでは、斬新すぎると元老及び他の町内より粹筋だとか「イラッシャイマセ」の浴衣だと言われたものです。(笑)

今では、他に誇れる柄だと自慢出来ます。司会 山車は荷馬車から「タイヤ」になったのはいつごろからですか。

高屋敷(由) 昭和41年までは荷馬車台でした。昭和42年から「タイヤ」、「ハンドル」と進展しました。

荷馬車時代は「ハンドル」がなく、「ブレーキ」もないものでした。曲り角を運行するときにはいつも苦労しました。



特に吹上小学校の角(当時は狭くて大変)には神経をつかったものでして、坂の上り下りには馬車の前の「カジ棒」がありました。又「カジ棒」の昔の写真にはよく四戸さん、和山勇次郎さんが写っていますが大変な労力だったと思いますよ。

今の「ブレーキ」と「ハンドル」ですネ。司会 山車の貸出しについての思いは。大橋(正) 「赤穂浪士」の山車は、八戸を代表する山車でもあるということから八戸市からの長期貸出しをして展示したらという話しもあったが実際は貸出しはしなかった。

和山(金) 他の町村のお祭りに貸出しするときは山車を馬で引いて十和田、三沢へ運んだときがありました。朝出発してその日の夜に着くという程時間がかかったものです一日がかりもいいところといった具合。



高屋敷(由) 貸出しは、三沢、十和田、久慈、むつ、大畑、七戸、上北町、岩手県の日詰、葛巻とまあ大変歩いたものです。

日詰町には盛岡市からも観衆が来たものでした。司会 日詰町の貸出しについては苦労しました。



夜八戸を出発し、盛岡で朝で日詰着は10時頃でした。その間警察の方には何回も叱られどうし、何しろ運行許可が無いものですから、電線も何回も切りました。

又、十和田市の近藤さんには、永い間お世話になりました。

司会 類家山車組が、ここまで発展したその一端には、陰の力となった裏方さんのことも忘れてはならないと思いますが一。



大橋(正) 裏方さんと言え、何んと言っても、御飯を炊いて下さった人達ですネ。

高屋敷のお婆さん(高屋敷キイさん)。

和山(金) そのとおりです。感謝状とケース入りの人形を贈呈してその労の意を汲んでいただいた程です。とにかくご飯炊の名人でした。



中村 その他にも下野さん、城前キクさん、寺下ミエさん、中西市太郎氏の奥さんの中西ヨリさん等忘れられませんネ。

高屋敷(由) 何しろ300人分の炊出しで、米は約900kg(15俵)を大釜で炊き、にぎり飯にしたんですからそれは又、暑さと薪火の加減なんか。

これも名人と言っていいでしょうな。



前代	全五百兩也
衣袋	全三百兩也
木料	全二百兩也
...	...

8

...	全六百兩也
...	全五百兩也
...	全四百兩也
...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也

12



...	全六百兩也
...	全五百兩也
...	全四百兩也
...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也

4

...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也
...	全五十兩也
...	全三十兩也
...	全二十兩也

9

...	全六百兩也
...	全五百兩也
...	全四百兩也
...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也

13

感謝書
 昭和三十七年八月二十一日
 發起人 石橋清治

1

...	全六百兩也
...	全五百兩也
...	全四百兩也
...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也

5

...	全六百兩也
...	全五百兩也
...	全四百兩也
...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也

10

...	全六百兩也
...	全五百兩也
...	全四百兩也
...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也

14

...	全六百兩也
...	全五百兩也
...	全四百兩也
...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也

2

...	全六百兩也
...	全五百兩也
...	全四百兩也
...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也

6

...	全六百兩也
...	全五百兩也
...	全四百兩也
...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也

11

...	全六百兩也
...	全五百兩也
...	全四百兩也
...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也

15

...	全六百兩也
...	全五百兩也
...	全四百兩也
...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也

3

...	全六百兩也
...	全五百兩也
...	全四百兩也
...	全三百兩也
...	全二百兩也
...	全一百兩也

7

祭りとの出会い

類家町内会 元青年部長

杉本文雄

今年のはちのへ祭り期間は、全く天候不順としか言いようがない。前夜祭はまずまずであったが、1日のお通りは、出発会囀の狼煙が雨神様の眠りを覚ましたかのよう
に、行列が進むほどに本降りとなった。しかし、その雨の中の行列をNHK「日本列島ふるさと発」のカメラが回り続け、衛星放送として初めて全国津々浦々に流れたのは喜しかった。

翌2日は遅い梅雨明け宣言が出され、やれやれと思ったのも束の間、3日のお還りは終日雨のため10年ぶりの順延となってしまった。4日のお還りは、降り続いた朝からの雨もさすがに午後には止んだものの、雲の切れ間もなく、戻り梅雨のような寒さの中でようやく終わり、雨に始まり雨で終わった今年の短い夏祭りであった。

私とはちのへ祭りの係わりは、商工観光課の勤務となった昭和37年からですが、それから7年間、前夜祭や木やり競演などを取り入れたりして大いに祭りを宣伝したが、これがきっかけで祭り好きになったのです。

類家の山車に参加したのは、祭りの事務から離れ、町内では青年部長時代の昭和44

年、竹取物語の山車を出した頃の前後数年だったと記憶している。その頃の類家山車組は常に上位入賞を飾り、引き子たちも喜々として得意気に瞳を輝やかして山車を引いておりました。

そしてまた、類家は他町内に先駆けて山車の構造に動的な変化をみせ、さまざまな工夫を取り入れたのもその頃であった。行列の道々で全開した山車の見事さに、沿道の観客から歓声と拍手が湧き上がり、震えるほど体がぞくぞくした感動を覚えたものです。

類家山車組が、昭和27年初参加以降数度の危機がありましたが、その度に長老や有志の方々の献身的な苦勞によって、一度の欠場もなく40年を迎えたことは誇りであり、確かな喜びであります。

山車造りも時代、時代の大きなうねりの中で、新しい型に変わろうとしておりますが、類家の山車は、これからも子供たちとともに町内の結束を益々強め発展しながら、新たな年輪を加えていくものと確信しております。

類家山車組こそ永遠の不滅です。

祝 40周年

いま、郵便局では郵便事業

貯金事業

保険事業を通じ



『地域とともに』を

大切にして
おります。

八戸郵便局 局長 工藤 烈

内 科・循環器
胃腸科・呼吸器科

医療法人 わかば会

及川内科医院

院長 及川 廣道

八戸市柏崎二丁目2-5

☎ 44-6255

かけがえのない青森

住みよい郷土 豊かな青森の建設をめざして



「人の和」をモットーに土木建築設計施工に励む



寺下建設工業株式会社

取締役社長 寺下 寅五郎

本 社	八戸市類家2丁目6-43	☎八戸(45)7111
青森出張所	青森市栄町1丁目1-8	☎青森(76)6868
三沢出張所	三沢市大町1丁目6-1	☎三沢(53)2371
仙台出張所	仙台市本町2丁目7-13	☎仙台(225)6257

これだ八戸の味

郷土料理コンクール特選

食品衛生県知事賞受賞



¥1,000

ご予約はフリーダイヤル ☎0120-43-8338

仕出しの総合商社



代表取締役 八田育昂

本社 青森県八戸市類家2丁目5番25号
電話 43-8338(代)
FAX 43-7878

すしレストランダック8類家店 (45)8383番
すしレストランダック8石堂店 (28)9883番
デリカニユー八八尻内店 (23)3365番
デリカニユー八八根城下店 (45)0579番
デリカニユー八八根城下店 (43)0602番
デリカニユー八八根城下店 (34)5270番
ほっかほっか弁当小野店 (43)5345番
八戸商業高等学校食堂部 (96)3917番
八戸商業高等学校食堂部 (27)5811番
八戸西高等学校食堂部 (27)3211番
明治乳業社員食堂部 (47)7188番
大平洋金産業社員食堂部 (29)3103番
大養産業里味店

当社は
幅広くあなたの「ポテンシャル」を求め！
(潜在能力)

▶ 男女正社員

18歳～35歳位迄……………20名

- ① 工程検査員(女子)
経験者優遇
日給/月給制(11万～15万円位迄)
- ② 技術・技能・指導
経験者優遇
月給制(15万～25万円位迄)
- ①②勤務時間 AM9:00～PM6:00迄

▶ 女子準社員

16歳～45歳位迄……………20名

- ① 部品挿入～修正～工程検査迄
勤務時間：AM9:00～PM5:00迄(送迎アリ)
時間給制：時間当り/560～600円

- ◎ 休日一日・祝・ゴールデンウィーク、夏休・盆休・年末年始
月2回週休2日制(生産上変更もあり)
- ◎ 待遇—各種保険加入・昇給年1回・賞与年2回、扶養手当・住宅手当・通勤費等各補助金あり・売店あり。

※地域に貢献するHOKUO企業グループ

株式会社北央電子工業

桜ヶ丘工場(第1・第2・第3) ☎0178-33-2004(代表)



●飛躍するセントラルグループは
 広く人材を求めています。

社員募集中 ホール係 各種保険有り、寮完備

委細面談、履歴書持参 ※お問い合わせ ☎44-8981

パチンコ

セントラル会館

八戸市類家(サンデー向い) ☎46-0915



小さな荷物を送るなら!!
 全国のドアからドアへ

日曜・祝日も営業しております。

通 八戸通運(株)

八戸市城下一丁目1番9号 TEL (44)0121

ペリカン便センター

☎ 荷物は ^{マル ツー} **28-0202** ^{マル ツー}

(0178)

月金株式会社

石油製品・LPガス・暖房機器
厨房機器・住設機器・事務家具
飼料・鶏卵・プロイラー製品他

——主要取扱品目——

石油製品全般・プロパンガス・オートガス・暖房機器・厨房機具・住宅設備機器・オフィス家具・飼料・畜産用機材及薬品・鶏卵プロイラー製品・各種損害保険他

——主な営業所・工場——

- ガソリンスタンド
小中野・沼館・廿六日町・尻内 白銀・河原木・卸団地・田面木・平中
笹子・根城・中居林・新井田・花生
五戸・十和田・十和田北・盛岡南・
仙台・高速道花輪
- オートガススタンド 八戸(城下四丁目)
- ガス工場 八戸・盛岡

本社事務所：八戸市城下一丁目13-2
☎(0178)44-5511(代表)

学校法人 千葉学園

理事長 千葉 満

千葉学園高等学校

八戸市類家一丁目1番11号 ☎031
☎(43) 4321~2

千葉幼稚園

八戸市田向間の田30 ☎031
☎(43) 4755

第二千葉幼稚園

八戸市河原木八太郎山10 ☎031
☎(28) 3320

第三千葉幼稚園

八戸市尻内町中川原21 ☎039-11
☎(27) 2507

向陵高等学校

八戸市田向間の田30 ☎031
☎(44) 3866

一般建設業・土木工事一式・発破工事・ドライビット
青森県知事許可(般-2)第269号

有限会社 協友工業

代表取締役 丸山 二郎

自宅 八戸市類家二丁目2の6
八戸市大字売市字左水門下12-16
☎0178(24)5627

類家内科クリニック

医師 及川広則

八戸市類家一丁目 8-42

TEL 43-2008

醸
造
部

み
そ
し
ょ
う
ゆ

雑
穀
部

大
豆
・
小
麦
・
穀



食
品
部

食
堂
資
材
一
般

薬
品
部

工
業
薬
品
添
加
物

マルハ物産株式会社

八戸市類家二丁目 1の21

電話 (45) 1445~6

豊かな経験と新しい技術を

明日に生かす!!

甲子建設(株)

代表取締役 上野 誠

自宅 八戸市類家1丁目 5-19

八戸市沼館1丁目 20-2

TEL (0178) 44-1517(代)

各種旗・緞帳幕類・カップ・楯・バッチ
タオル・手拭・腕章・ひな人形・鯉のぼり
カーテン・暗幕・ブラインド・記念品

(株) むさし屋

八戸市類家三丁目 1の7

TEL (代) 44-6348
ヨシ ムサシヤ

古都の銘木

北山杉特選絞丸太他床柱

新築、増改築に御用命お待ち申し上げます。

忠 岩手木材株式会社

代表取締役社長 金田一 忠

八戸市類家 丁目2-3 TEL24-5276

八戸市大字田向字野堰21-1 TEL43-6222~3 FAX43-6224

MIYAGO

マイクロバスのご案内

ご予約・お問い合わせは

東京予約センター (三八五観光内) ☎03(835)7385

鹿角予約センター ☎0186(35)3868

三八五タクシー(上北) 予約センター ☎0176(56)3155

盛岡予約センター ☎0196(54)1533

六ヶ所予約センター ☎0175(75)3412

五戸観光ハイヤー ☎0178(62)3141

青森予約センター (三八五航空内) ☎0177(87)3333

三沢空港 予約センター ☎0176(53)3900

八戸予約センター ☎0178(45)2178

三八五レンタカー
株式会社三八五オートリース

青森県八戸市柏崎2丁目4-17 TEL ☎0178-45-2178 FAX0178-45-1995

建築塗装・住宅塗装・鉄骨橋梁塗装

まるやま塗装工業

代表 丸山 一二三

事務所 八戸市青葉三丁目6の16

TEL46-0587・FAX47-3666

連絡所 八戸市類家二丁目2の6

TEL24-1741

祝 40周年

八戸 三社大祭 福牡丹

姉妹品 辛口本醸造 **やわたうま** もどうぞ

八戸酒造株式会社

痛みからの解放

類家整骨院

福田 進

- ◆各種健康保険
 - ◆自賠責・労災保険
- 適用

八戸市類家三丁目1-10
 (45号線みちのく温泉入口)
 TEL (43) 4735

安心と希望を
 提供する。

経営・会計事務所
 税理士・行政書士

佐々木 勝

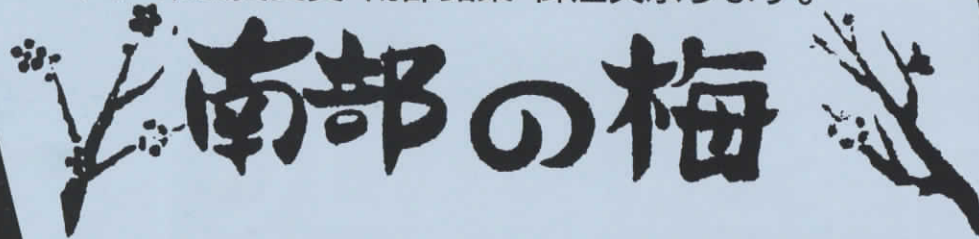
八戸市類家四丁目9-5
 ☎^{八戸}(0178) 46-2331(代)
 FAX 24-2510

斉藤産婦人科医院

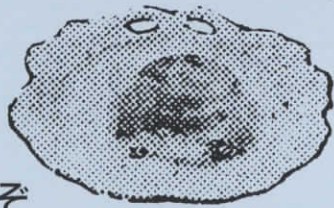
斉藤 弘

八戸市類家一丁目1-16
 TEL (0178) 22-7716

八戸市長賞受賞 南部銘菓 御注文承ります。



涼しいお菓子で
 おもてなし!



青りんごゼリー・うめゼリーもどうぞ

●手づくりの和洋菓子 御祝儀・御仏事・注文一式

要戸田菓子舗

八戸市吹上一丁目(東高校通り) ☎22-0593



今日の疲れを
 取り去り、
 明日の活力を
 与える。

泉 質

単純泉(28℃)弱アルカリ性・低張性低温泉
 ナトリウム塩化物泉(42.2℃)弱アルカリ性高温泉・低張性

適 応 症

リウマチ性疾患 神経痛 筋肉痛 関節痛 五十肩
 運動麻痺 うちみ 関節のこわばり くじき・慢性消化
 器病 痔疾 冷え症・病後回復期 健康増進 きりぎり
 やけど 慢性皮膚病 慢性婦人病 虚弱児童・その他
 (昭和61年1月31日青森県衛生研究所調べ)

サウナ みちのく

(有)富士の湯

八戸市類家一丁目8-20
 (旧八戸グランドホテル別館)
 ☎43-6152(代)

一般建築工事設計施工一式
 金融公庫・住宅ローン



高重工務店

代表 高屋敷 重徳

八戸市吹上一丁目5の9
 TEL 45-6392



各種総合製本・一般印刷
テレホンカード印刷

☎ (0178)44-3362(代)
FAX 44-3363

株式会社 中長製本印刷

代表取締役会長 中村長一

〒031 八戸市城下4丁目24-23 テレホンカード50

給排水・冷暖房
ガス・消火栓
トイレ水洗化工事

- 八戸圏域水道企業団指定工事店
- 八戸市指定下水道工事店
- 八戸ガス株式会社公認工事店

Ⓚ 有限会社 管工舎

八戸市類家三丁目13-8
TEL 24-4914
FAX 24-4914

土木工事・左官
タイル・ブロック

TSK 有限会社 竹岸工業所

事務所 八戸市青葉一丁目15の3
TEL 24-1926
FAX 43-6207

自宅 八戸市白銀町字佐部長根24-66
TEL 35-0576

SUZUKI



セルボモード



エスクード



アルト



ワークス



カルタス

(株)スズキ自販青森

八戸営業所

八戸市類家3丁目2-1
TEL 0178-43-7215(代)

黒田内科医院
胃腸科

医師 黒田正宏
医師 黒田迪子

八戸市柏崎三丁目
(ナナオ家具センター向い)
☎ 45-7777

ふっくらおいしい
水晶米

おいしいお米のお求めは
南部食糧チェーン店で!

- コシヒカリ
- ササニシキ
- キングゴールド
- 特選ゴールド
- シルバー
- あきたこまち
- つがるおとめ
- あすなる
- すこやか
- はい芽精米



南部食糧事業協同組合

八戸市荒町22 ☎(0178)44-1181(代)

イロハ薬品

八戸市類家3-11-6

TEL 22-2270

祝

八田企業グループ

代表 八田 宇一

コミュニティホール

はちのへ報恩会館

八戸市柏崎6丁目24-10 TEL0178(2)8788
FAX0178(2)8749

冠婚葬祭

報恩互助会

八戸市二十三日町 TEL0178(4)2427
FAX0178(4)2626



ガス・灯油の御相談は

LPガス配管工事・冷暖房電管工事
LPガス機器取付・給排水・衛生工事

有限会社 **八戸プロパン商会**

〒031 八戸市青葉一丁目2-7
TEL (0178) 46-0123(代)
22-5862
FAX (0178) 46-0445

内科 於本病院

理事長院長 於本 弘
副院長 於本 章
副院長 於本 淳
医師 於本 晴美

八戸市大工町10
電話 (43) 4647(代)

分院 金吹沢診療所

八戸市大久保金吹沢ラジウム鉱泉隣り
電話 (34) 2681

花は真心

電話一本で各地へ
お花をお届け致します。



株式会社 フラワーショップ



青森県八戸市朔日町43-1
TEL44-4187(代)
FAX45-9551

厳選された中古車 **グッドチョイスカー** アフター万全・安心保障

GOOD CHOICE CAR

県内最大500台人気車種が
一目でわかるコンピューター管理。



軽からソアラまで今ウワサのテレホンコーナー

予約コーナー・お問い合わせコーナー

●人気車種 ●店頭価格 ●お支払い方法 ●納期 ●装備

安心の
ロングラン保証
さらに充実!

日産の証-オートヨクヤク

ロングラン保証



FOR YOU No.1 サービスをめざす

青森トヨペット

☎0178-43-6911(代)
〒031 八戸市青葉3丁目3の17
FAX 0178-43-6912

夏の宝は青銀へ。

ライフプランに安心の一枚。
あおぎん ツインカード
総合口座+スウィング機能で、
くらしの預金は通帳1冊。
TOTALパック90
いざという時のこの1枚
あおぎんDCカード
あおぎんVISAカード
JCBカード
あおぎんツインカード



Aomori Bank

株式会社 **青森銀行**
八戸支店

卸売市場支店
中央出張所

額縁・画材 デザイン材料・教材

石友塗料店

お祭り用各種塗料
ネオカラー・接着剤
床みがきワックス

八戸市十八日町15 ☎22-0269



安心してまかせられる教習

於本自動車学校

八戸市中居林館越山35-1 TEL 43-7721(代)
FAX 44-0758



◆年中無休

朝7時～夜11時

スーパー

フジヤ

青森県八戸市類家3丁目11-2
TEL (0178)43-9530

おいしい食卓、うれしい笑顔
お待ちしておりますオレンジカラー!



よこまち

●<本部>八戸市類家3丁目
●TEL (45) 5151<代>

類家店 六ヶ所店 中居林店 大杉平店 田舎木店 階上店 十和田店 白銀店 八戸市

東北運輸局指定



最新設備と技術の民間車検工場

東北自動車株式会社

代表取締役 立花 喜代志

八戸市沼館一丁目10の40
電話 45-7887

中華 しめはら

☎45-8878

◆営業時間
AM 11.00 ~ PM 9.00

◆定休日 .. 火曜日

もめんの感触・手造の店

総合寝具

すえばやし

八戸市吹上6丁目2-22(春日町)
☎22-7045
工場 ☎96-2647

上北郡六ヶ所村・平沼店
☎5-2701

造花・花笠の

ご用命は

秋田造花店

八戸市大字十六日町39
☎22-2248

新しいインテリアを提案する

Chiba

千葉室内

青森本店・別館/青森市新町二丁目8-12・0177-23-4151 FAX0177-73-6721
 弘前店/弘前市一番町7・0172-33-2151 FAX0172-32-2325
 八戸店/八戸市二十三日町41・0178-22-7485 FAX0178-22-7487
 外商販売部・設計室/青森市三内字稲元66・0177-81-6357 FAX0177-81-6368
 寝装品卸部/青森市三内字稲元66・0177-82-1315 FAX0177-81-6368
 サンロード店/青森市浦町字奥野375-1・0177-77-2365

ハリ・キュウ

工藤治療室

●診療時間●

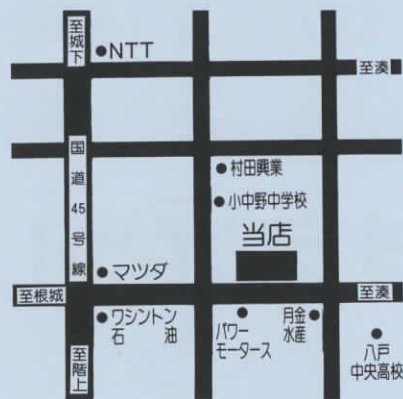
月～金 8:30～19:00
 土 8:30～17:00

八戸市類家一丁目8の3
 ホワイトレジデンス八戸1F

☎(0178)44-9192

酒・ビデオ・食品・本

24時間 営業



越 立 興 酒 販

有限会社

〒031 青森県八戸市小中野三丁目15の9
 電話(0178)45-0218(代)

ご注文・ご相談は

フリーダイヤルで

☎ 0120-451835

(市内でも必ず0120からダイヤルして下さい。)

酒・たばこ・米・塩・印紙

 (有)小山酒店

八戸市類家5丁目2-21

一般区域貨物自動車運送事業
 自動車運送取扱事業



丸新運輸株式会社

代表取締役 小笠原 光雄
 外役員・社員一同

〒031 八戸市大字河原木字蓮沼1の19
 TEL 0178-20-2800(代)
 FAX 0178-20-4140

一般区域貨物自動車運送事業
 自動車運送取扱事業
 軽車輛等運送事業

丸善配送

有限会社

代表取締役社長 石黒善男

本社/八戸市根城三丁目3-10
 ☎0178-43-6801(代)
 営業所/八戸市鮫町字金屎35-10
 ☎0178-33-2261(代)
 FAX 33-2262

一般区域貨物自動車運送事業
 自動車運送取扱事業



前村組

有限会社

代表取締役 前村洋子

〒031 八戸市高州一丁目8番13号
 ☎0178-28-5635(代)
 FAX 0178-28-5682

各種車輛整備・钣金塗装
定期点検・車検整備
フォークリフト特定自主検査

(有)親和自動車工業

〒031 八戸市沼館二丁目32-26

TEL 八戸(0178)45-0714

迅速・確実・便利な輸送

新鮮な食品をあなたに
豊かな暮らしを運びます。



大富

大協運送株式会社

青森県八戸市新湊3-3-14
TEL(0178)33-7862 FAX(0178)34-6604



職場ユニフォームの専門店

有限会社 北日本繊維

八戸市大字尻内町字沢ノ田15-3
TEL0178(27)3719(代)
FAX0178(27)3709

住みよい郷土を目指して 地域社会に奉仕する

- ◎総合建設業 鉄工建設一級建築設計事務所
- ◎建設揚重業 クレーによる諸工事



八戸鉄工建設株式会社

〒031 青森県八戸市沼館一丁目6番17号(鉄工会館)
TEL(0178)44-1711(代) FAX(0178)44-2761

長尺瓦棒葺
各種屋根工事
ステンレス加工
カー装飾

寺下板金工業

寺下忠雄

工場 八戸市大字大久保字町畑西ノ平
電話(31)5796
FAX(31)3798
自宅 八戸市類家二丁目5の6
電話(43)7576

食料品・タバコ・雑貨

●AM6:00~PM9:00

アイリスショッス



四戸俊光

八戸市類家二丁目1の8
TEL 43-9464

祝 40周年

十和田中央町内会

祭典委員一同

昭和38年より、御交誼いただきありがとうございます。

祝 40周年

岡三沢町内会

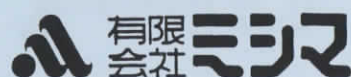
祭礼委員会

祝 類家山車組40周年
心から御祝い申し上げます。

昭和46年、山車赤穂浪士以来の御取引、御指導に対し
深く感謝申し上げます。

久慈市中組 顧問 神田多造
組頭 葛巻泰雄
副組頭 西 幸・外館勝英・晴山進一

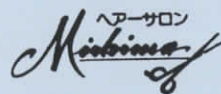
美・健康・若さをクリエートする



代表取締役

三島大東

〒031 青森県八戸市類家三丁目6-20
☎(0178)45-6226



類家店
八戸市類家三丁目6-20 ☎45-6226



青葉町店卸売市場店
八戸市柏崎六丁目21-10 ☎24-5454



八戸市中央
八戸市河原木字神才7-4 ☎29-4038



日計官舎ショッピングセンター店
八戸市河原木字八太郎山官地 ☎29-3841

医療法人 仁友会

八戸中央病院

院長 清川八郎

八戸市柏崎4丁目15-41

TEL (44) 0555(代)

FAX (47) 2516

類家山車組40周年おめでとうございます。
当社もおかげ様で20周年を迎えました。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

八戸圏域水道企業団指定工事店
八戸市下水道指定工事店

青葉水道サービス株式会社

代表取締役 荒川末蔵

八戸市類家三丁目5-5 ☎43 4726(代)

古銅鉄屑
機械工具類
網 網 類 商
中古機械
一般買入

畚 田村商店

田村三之助

自宅 青森県八戸市江陽四丁目10-41
電話0178-22-3059 43-7472

沼館出張所 八戸市沼館三丁目
電話0178-45-5536

「ニーズ、サービス
アメニティの追求」



建設業(有)下田組

代表取締役

下田金作

〒031 青森県八戸市柏崎2-1-11
☎0178(22)1228・FAX(45)3603
☎031 青森県八戸市類家3-4-13
☎0178(43)7075(自宅)

トヨタオート青森類家営業所」

八戸市青葉三丁目3の15
TEL 43-1911

◆新車取扱い車◆

- チェイサー
- スプリンター
- スターレット
- ライトエース
- MR-2
- セラ
- カリブ



「中古車マイカーセンター」ズバリお買得車、ズバリ高品質車

宣伝企画 / 屋外広告 / POP広告 / 新聞広告
展示会場 / 店舗設計施工 / ネオンサイン / 各種看板

プラスチック・アクリルライト・看板 (田文宣社)

有限会社 **アートコンセン**

代表取締役 類家孝
八戸山車製作師

予算の少ない方当店へ **43-7155**

調査—企画—設計—制作—施工

工場/八戸市江陽二丁目10-50 ☎43-5241
自宅/八戸市柏崎四丁目14-54

酒・タバコ・切手類

大橋酒店

八戸市類家一丁目3-21
TEL 22-3051

青森県住宅性能研究会々員

快適、個性的な自由設計

有限
会社



石橋建設

〒031 八戸市柏崎6丁目26-3 ☎0178-43-8812 (夜間) 43-8811

事務所・ショールーム ☎0178-43-1723 FAX 0178-46-2789

◎安い均一料金!!

◎長い保育時間 朝7時30分に開園し、夕方6時までまでおあずかりします。

(保育内容)

- 完全年齢別、クラス保育を行います。
- 年齢に応じて、さんすう教室 習字などを保育の中に取り入れています。
- スイミングスクール スケート教室など、季節に応じて行います。
- 完全給食です。
- 遠足 運動会・納涼大会・おゆうぎ会など、楽しい行事がたくさんあります。
- 子供とのふれあいを大切に、毎日元気に、楽しく過ごすように心がけています。

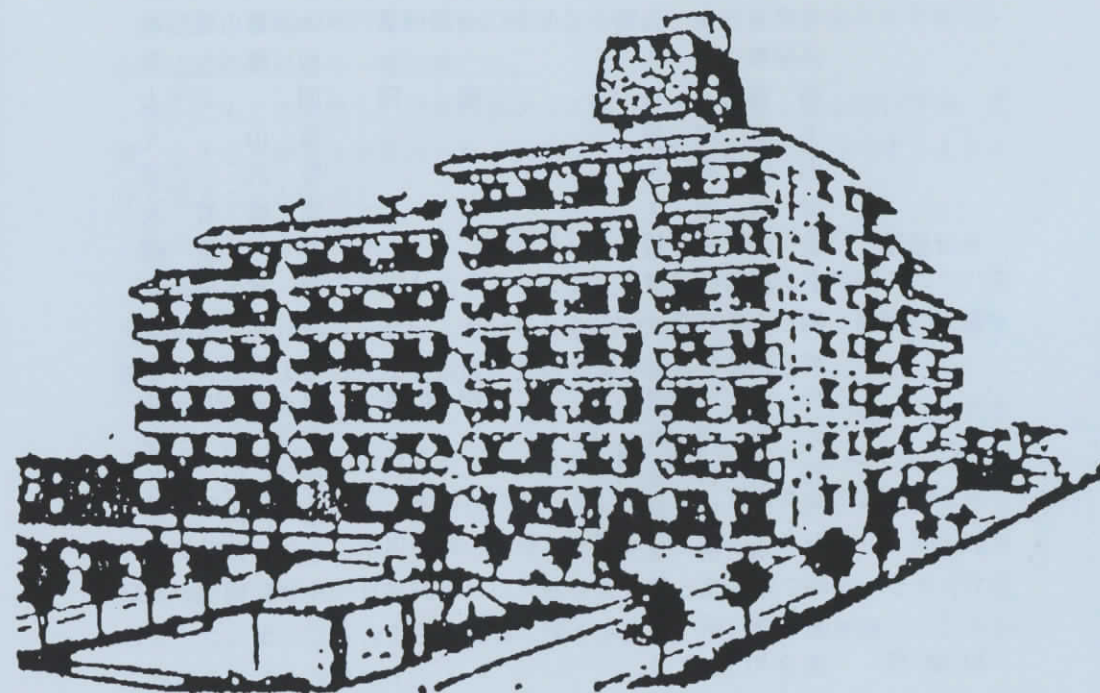
つよいこ・よいこ・げんきなこ

いつも
たのしい **けいおう幼稚園**

住所 八戸市類家4丁目15-6
TEL 45-5130

豊かな郷土づくりを目指す!!

「総合建設業」



Ⓣ **中当建設株式会社**

代表取締役 中村 テル

八戸市大字田向字向平12 ☎(0178) 96 4300(代)

平成3年度 類家山車組役員

名誉会長	上 沢 寿 春
会 長	寺 下 忠 雄
副 会 長	柏 崎 武 志
	石 橋 光 雄
	城 前 隆
	高屋敷 正 敏
	佐々木 浩
会 計 事 幹	四 戸 俊 秀
	下 村 俊 雄
	川 口 嘉 男
	三 島 大 東
	寺 下 俊 夫
	高屋敷 幸 次
	高 橋 巧
	下 沢 幸 男
	山 田 幸 次
	田 村 浩 久
会計監事	大 橋 達 雄
	石 橋 一 男
顧 問	関 三 千 夫
	泉 山 元
	野 沢 三 之 丞
	大 橋 正 夫
	高 橋 岩 太
	寺 下 敏 昭
	杉 本 増 見
	杉 本 文 雄
	石 橋 末 吉
相 談 役	連合町内会長
	東 町 内 会 長
	西 町 内 会 長
	南 町 内 会 長
	北 町 内 会 長
	中 町 内 会 長

類家山車保存会役員

名誉会長	上 沢 寿 春
会 長	丸 山 一 朗
副 会 長	高屋敷 菊 松
	和 山 勇 次 郎
会 計 事 理	四 戸 俊 光
	石 鉢 圭 介
	小 林 清
	植 村 昭
	下 田 寛
	工 藤 国 晶
	三 島 大 東
会計理事	大 橋 達 雄
	石 橋 一 男
顧 問	関 三 千 夫
	泉 山 元
	野 沢 三 之 丞
	高 橋 岩 太
	寺 下 敏 昭
	杉 本 増 見
	杉 本 文 雄
	石 橋 末 吉
相 談 役	連合町内会長
	東 町 内 会 長
	西 町 内 会 長
	南 町 内 会 長
	北 町 内 会 長
	中 町 内 会 長

寄贈者御芳名

ありがとうございました。

昭和49年	車 体 1台	泉 山 信 様	昭和61年	御 神 燈 1対	三 島 大 東 様
昭和57年	車 体 1台 祭 衣 裳、お よ び 小 道 具 1式	(株) 月 金 様	昭和61年	手 古 舞 衣 裳 2揃	戸 田 菓 子 舗 様
昭和61年	大 太 鼓 1張	佐 々 木 一 二 三 様	昭和61年	子 供 用 祭 袴 纏 100着	(株) 大 協 運 送 様

編集を終えて

八戸三社大祭は、270余年の歴史と伝統のある華やかな祭りであり、三社の付祭としての山車は時代の変遷と共にいろいろな趣向を変えて現在に至っている。

その時代の流れのなかに「類家山車組」の歴史もある。

そんなおもしろい、いつも僕の頭の隅にあった。ここで、その歴史を省りみることも意義があるのでないだろうか。今年はちょうど、製作40周年という節目にあたり、この機を是非実現してみたらと、四戸俊光氏、丸山二郎氏、上沢寿春氏、寺下忠雄氏に話しを持出してみた。資料等ならば何んとかして集めてみせるとのこころ強いご賛同を得たことはうれしかった。

「類家山車組40年の思い出」の座談会を催し、その責務の大きさを感じ、かつ協調性の必要を一層認識した。

幸いにもこの危惧も、皆様の温かいご協力により資料となる古い写真、文献、広告などが着々と集められ、ひとつ、ひとつが活字になってゆくよるこびを得ることが出来た。

このよろこびは大きく、且つ感激さしてくれるものばかりだった。

勿論、あれこれの苦労もありましたが、山車組の皆さんや町内の人々の協力に報いなければならないと自分自身を叱咤しながらようやく発刊の役目を終えた今は、よかったなと素直な気持ちで振り返っております。

しかし、十分な編集であったであろうかとあれこれ思うにつけ、ご迷惑やご不満の点が多々あったことでしょうか。何卒ご海容をいただきたく存じます。

最後になりましたが、本刊行に際しましては、八戸市長様の御祝詞をはじめ、各位様、類家山車組現役の皆様、赤間印刷工業の小泉正治様、園田益男様、つきだて写真の月館純様には大変なご苦勞とご無理なお願いをかけ致しました。更には広告主の皆様方に深く感謝申し上げ、その厚意にこころから謝意を表する次第です。

ありがとうございました。

(編集委員長 大橋達雄・記)

類家山車組 40年のあゆみ

発行日/平成3年9月

発行者/類家山車組・類家山車保存会

印刷所/赤間印刷工業株式会社

製 本/株式会社中長製本印刷

花ひらく伝統の味、海の幸。
時代を越えて、健康の知恵。



●四方の海に囲まれた日本では、古来から海の幸たちとたいへん上手に付き合ってきました。そして幸運なことにそれらは確かな健康を生む手段として非常に理想的な要素をたくさん含んでいます。先人のその知恵を生かし、豊かな食生活に貢献するヤマヨグループ。健康づくりを願い、私たちは今日も海の幸を通じて企業努力を続けています。

ヤマヨ 株式会社 ヤマヨ

●本社／八戸市江陽4丁目10の24 ☎24-3211(代)



組 車 山 家 類
会 保 存 車 山 家 類